

広報

いまり

市の人口

7月1日現在

総人口 58,900人

男 27,580人

女 31,320人

世帯数 14,831世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部5円 昭和47年8月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 222



一本格化した七ッ島工業団地造成工事

「七ッ島工業団地」の造成工事が
いよいよ本格的になりました。

黒川町地先の金剛島一帯や七ッ島
も全島伐採・焼却され、現在金剛島
の北側の山を切りくずしてどどん
埋め立てられています。

49年の春には総面積150万平方メ
ートルという広大な工業団地が誕生
することになっています。

広報こよみ

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| 5日～6日 家族キャンプ(国見台) | 17日 伊万里市・西松浦地区PTA
指導者研修会 |
| 8日・22日 交通事故相談日 | 24日 佐賀県公民館大会 |
| 10日 同和教育講演会 | |
| 13日 市子どもクラブソフトボール
大会 | ※あなたの町で明るい話題があったら市広報統計係へお知らせください |
| 15日 終戦記念日 | |
| 17日 無料法律相談日 | |

なぜ急ぐ事故につながるその運転

47' 8月

死者1人・荒れ狂った7月豪雨

被害総額8億円に達す

伊万里地方を襲ったうらみの7月豪雨は、9日から12日までに470.1ミリを記録、特に12日の12時から14時までのわずか2時間に134.0ミリという、昭和42年7月9日の大災害に匹敵する記録的な大雨を降らせました。そのため、ガケくずれによる1人の尊い人命をうばったほか、中小河川のはん濫によって家屋の浸水や農地などに8億円に及ぶ甚大な被害を与えました。

「災害は、忘れたころにやってくる」というが、昭和42年7月9日大災害の傷跡もいえぬ、わずか5年目にして、またもや伊万里地方は大きな被害を蒙りました。

市は、10日未明、いち早く災害対策本部を設置、全職員を動員して嚴重警戒に当たるとともに、消防、警察など、防災機関の協力を得てできる限りの防災対策を講じました。しかし、自然の脅威は非情の瓜あとを残して去りました。

河川のはん濫

住家1,400を襲う

狂ったように降りしきった強い雨は、これまでの長雨によって満腹状態の山や河川などを、情け容赦なく破壊しました。なかでも、伊万里川の支流をなす脇田川・白野川・新田川をはじめ、黒川町の黒塩川や山代町の佐代川・波佐間川など、市内いたるところの中小河川がはん濫して

床上浸水208戸・床下浸水1,240戸に達したのをはじめ農地や道路・橋などを無惨に破壊しました。

浸水が最もひどかったのは、大坪町白野から柳井町一帯にかけて84戸立花町・新天町・浜町一帯276戸のほか、松島・脇田地区100戸、木須瀬戸・漁港にかけて100戸、黒川町塩屋地区45戸、山代町の佐代川流域102戸、久原地区46戸、東山代町里川・長浜川の流域で68戸が浸水しました。

いっぽう、伊万里川の増水によって、延命橋の仮橋に仮設していた水道管が、仮橋とともに流出、松島から牧島・黒川町に至る伊万里川から北部地区が12日から18日まで7日間にわたって断水しました。そのために陸上自衛隊久留米第4特科連隊がら給水車5台の救援を求めるとともに伊万里青年会議所や市の給水車あわせて8台が巡回して配水しました。また、浸水して炊事ができなくな

ったかたがたえの炊き出しや、浸水家屋の消毒作業、水につかった家財やゴミ処理など復旧にけんめいの努力がはられました。

南波多町で尊い犠牲者

農地や施設などにも大きな被害をもたらしました。7月13日までにわかった被害は、田畑の流出埋没22ヘクタール・冠水した田畑は902ヘクタールに達し、また、水路108か所農道164か所・ため池34か所など農業用施設は343か所に及び、公共用施設も道路171か所・橋17か所・河川139か所となっています。

また、山林ほう壊8か所・林道8か所のほか、ガケくずれは89か所に及び、被害総額は8億にも達しました。

なお、南波多町では、高瀬部落の農業、松尾秋造さんの妻、ミハさん(55歳)が、自宅の裏山のガケくずれのため、土砂の下敷きになって尊い命をうばわれました。いっぽう地すべりの危険にさらされている南波多町古川の烏帽子岳は、幸い被害をまぬがれましたが、山代町西分乙女地区の地すべりは、こんどの大雨で危険がせまったため、民家7戸が避

町では一人の尊い人命をも失ってしまった。
七・九災のあと、伊万里川をどうするかという時、五十年に一度といわれるほどの大雨を見越し、一時間降雨量八十ミリに耐える川幅拡幅が計画された。しかし、五十年に一度の予想が五年でやってきたのである最近、科学や文明の進展は、過去の百年を十年でなしとげていることは聞いていたが、災害まで十倍の早さでやってくるとは考えなかった。

田中総理が「今の時代は根本的に発想を変えて、しかも決断実施の時である」とのべているが、河川改修やガケくずれ対策なども従来の災害復旧とは根本的にその発想を変えなければいつまでも同じ災害を繰り返すことになる。

また、田中総理が云う産業再配置の前に、まず地質地形の改造が必要である。地すべり・ガケくずれはすべて表土を取り除くか、安心して移転できる対策・水害には住居を一定の標高以上に定めるなど、根本的な対策が考えられてもいいのではなからうか。

難したほか、下方の石倉山に新しいき裂が発見され、付近の住民も一時避難しました。また、同町久原の城山（標高346メートル）の左側に当たる馬洗川一帯に地割れやかん没がおこり心配されています。

もちこたえた伊万里川

伊万里川は、12日の12時ごろから14時ごろにかけて降った集中豪雨のため、一時は危険水位をはるかに越えましたが、はん濫はまるがれ、80ミリていどの時間雨量でも持ちこたえることを実証しました。改修が終われば、更に安全性を高めることになりましょう。しかし、仮設した幸橋と延命橋の仮橋は濁流にのまれ改修工事や交通にかなりの支障をきたしました。

7月豪雨は、県下各地にも例外なく大きな被害を与え、池田知事は自衛隊のヘリコプターで県下の災害状況を視察しました。伊万里市には14日に飛来、市内の被害状況をつぶさに調査したあと、市役所で竹内市長から詳しい被害状況報告を受けました。また、16日には古賀雷二郎参議院議員も、県土木、農林部長を同伴詳しく被害状況を調査するとともに市や地元からの要望や陳情をうけました。

とりわけ、今回の集中豪雨によって、被災されたかたがたには、心からお見舞い申し上げますとともに全市民の力を結集して、一日も早く復旧をなしとげなければなりません。

7月豪雨による被害状況 (7月13日現在)

区	分	数量	備 考
人 被 害	死 亡	1	南波多町松尾ミハさん
	軽 傷	2	
住 家 の 被 害	半 壊	10	
	一 部 損 壊	9	
	床 上 浸 水	208	
	床 下 浸 水	1,240	
避 難 世 帯		81	
給 水 世 帯		1,400	
非 住 家 被 害		2	
農 地	田の流出埋没	21.22 ^{ha}	
	畑の流出埋没	0.70	
	田畑の冠水	902.00	
	樹 園 地	3.10	
農 業 用 施 設	水 路	108	
	農 道	164	
	橋 り よ う	10	
	た め 池	34	
	頭 首 工	10	
	農地保全施設	17	
農 畜 産 物		水稻そ菜1,077 t 鶏3,800羽など	
林 地 ぼ う 壊		88	
林 道		8	
林 産 物		木材200 m ³ シイタケ400本	
公 共 土 木 設 施	道 路	171	
	橋 り よ う	17	
	河 川	139	
が け く ず れ		89	

七月十二日の集中豪雨は十三時から十四時までの一時間に八十五ミリを記録した。これは、五年前の四十二年七月九日の十二時から十三時までの降雨量と同じである。

同じ雨量で市街地が七・九災のような惨事に至らなかつたのは、伊万里川上流にいくつもの砂防えん提ができて、大きな山腹ほう壊がなく、それだけ水かさか少なかったこと。さらに伊万里川の拡幅が進み、市街地へのはん濫をまぬがれたためである。しかし反面、未改修の中小河川はほとんどが溢水し、その被害は七・九災以上のところもあった。

さらに、今回の豪雨災害の特徴は、ガケくずれが多かった。特に伊万里市は地すべり地帯特有の第三紀層で、地盤がきわめて弱く百か所に及ぶガケくずれをおこした。なかでも、南波多





7月12日の12時から14時までに134.9ミリという驚異的な集中豪雨によって、白野川は大はん濫をおこした。その濁流はいきなり国道にも浸入し、祇園町～柳井町一帯の住家など、そのほとんどを床上まで水びたしにした



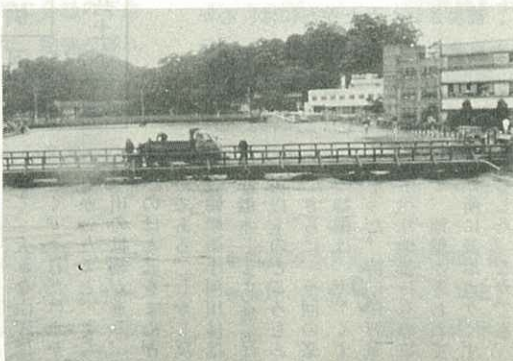
白野川の濁流は市役所にも容赦なく襲いかかる



白野川のはん濫で腰まで水びたしになった市役所横の市営住宅付近



護岸が落ち、床下をえぐり取った濁流（東円造寺・中島橋横の住家）



1時間85ミリの大雨に耐えた伊万里川（伊万里中学校前）



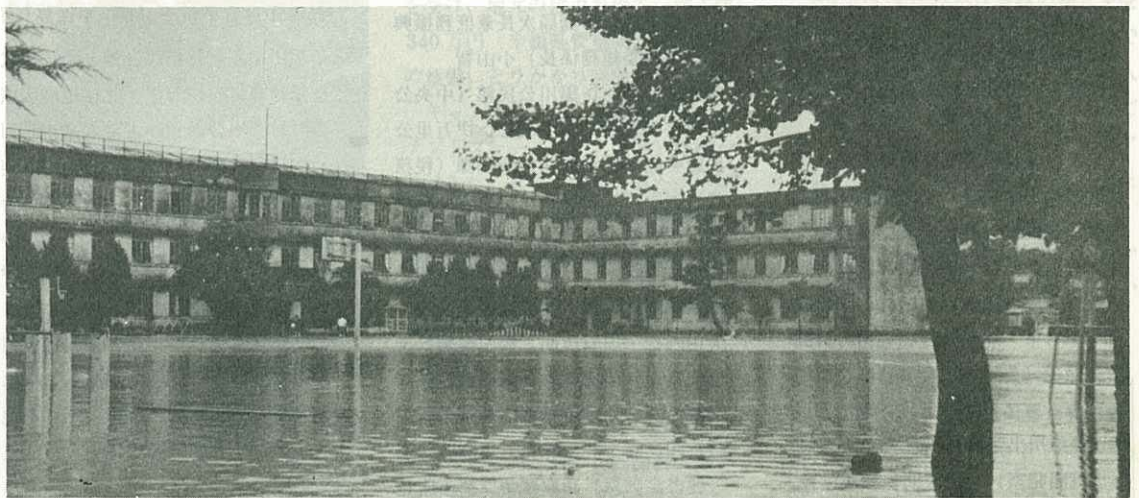
新田川のはん濫で水びたしになった立花町金谷一帯（国道バイパス筑肥線立体橋工事現場付近から写す。）



脇田川のはん濫で水びたしとなった松島町付近



浸水した伊万里駅裏一帯の水田や住家



はん濫した濁流は伊万里小学校にもあふれ、全校休校となった

商工観光課の充実など

7月1日付で人事異動

7月1日付で145人の人事異動を行ないました。こんどの異動は、伊万里湾開発室を秘書企画課から商工観光課へ移したこと、空席だった土地改良課長の配置、電子計算センター要員4人の伊万里・北松地域広域市町村圏組合への派遣のほか、採用後5年未満の職員を市役所業務を多面的に経験させるために異動の対象にしました。

【課長級】 市民課長（保健衛生課長）井手誠▷保健衛生課長（労働課長）村岡博▷土地改良課長（土地改良・農林水産両課参事）古竹勇助▷労働課長（商工観光課長補佐）嘉村政則▷総務課付・伊万里・北松地域広域市町村圏組合派遣（市民課長）大崎正

【課長補佐級】 秘書企画課長補佐兼事務管理係長（総務課長補佐）中島善明▷総務課長補佐兼職員係長（同職員係長）井手穂▷財政課長補佐兼財政係長（農林水産課総合農政室長心得）鹿保▷課長補佐待遇（財政課管財係長）浦山義光▷公平委員会事務局長併任税務課長補佐兼庶務係長（税務課長補佐）内山和三▷市民課長補佐兼窓口係長（同窓口係長）松尾栄▷保健衛生課長補佐（東山代公民館長）川原郁朗▷兼農林水産課水産係長（同課長補佐）飯田文次▷商工観光課伊万里湾開発室長（農林水産課水産係長）松尾昭良▷都市開発課長補佐（農業委員会事務局次長）大久保弘▷水道課長補佐兼施設係長（同施設係長）山田登▷総務課付・伊万里・北松地域広域市町村圏組合派遣（公平委員会事務局長併任税務課計算係長）林芳之▷黒川公民館長兼黒川出張所長（秘書企画課伊万里湾開発室）米沢兼助▷教委学校教育係長、課長補佐待遇（黒川公民

館長）条島勝▷課長補佐待遇（伊万里公民館長兼中央公民館長）日高昇

【係長級】 総務課庶務係長（商工観光課商工観光係長）田中俊輔▷税務課計算係長（同課係長待遇）池田浩一郎▷同徴収係長（市民課国保年金係長）大野基▷市民課国保年金係長（秘書企画課事務管理係長）丸田辰雄▷保健衛生課保健係長（同係長待遇）田中匡▷農林水産課総合農政室長（議会議務局次長兼庶務係長）山口布土次▷商工観光課工業振興係長（都市開発課係長待遇）永尾勲▷同商工観光係長（同係長待遇）谷口和夫▷建設課維持補修係長（水道課係長待遇）川原哲▷水道課工業用水道係長（市民病院庶務係長）吉住通泰▷市民病院庶務係長（総務課係長待遇）江本広司▷兼南波多保育園長（駒鳴・大川野・立川・井手口保育園長）中島秋太▷議会議務局次長兼庶務係長（財政課財政係長）東島章夫▷松浦公民館長兼松浦出張所長（税務課徴収係長）島田清次▷教委総務係長（松浦公民館長）山口晃▷東山代公民館長兼東山代出張所長（同公民館係長待遇）日浦二三男▷農業委員会事務局次長兼庶務振興係長（教委総務係長）小山智

◎係長待遇▷黒川公民館（中央公民館係長待遇）田中義徳▷伊万里公民館—高田保彦▷秘書企画課（税務課）河原斉▷総務課—川原求▷財政課（教委学校教育課）淵上辰己▷税務課（建設課）—梶山幸雄▷市民課川原岩雄▷農林水産課—津上昌三
大川内稔・川原茂明・福田恒男▷土地改良課—前田竜弥・山口成敏▷商工観光課（秘書企画課係長待遇）山口竹四▷商工観光課伊万里湾開発室（秘書企画課）高取厚美▷都市開発課—久保田正敏▷労働課（黒川公民

館係長待遇）鶴田吾助▷▷福祉事務所—古賀儀七▷農業委員会事務局（市民課係長待遇）小笠原幸一▷中央公民館兼伊万里公民館（水道課係長待遇）池田光宏▷山代公民館（税務課）前田昭

【一般職員】（旧任省略）

秘書企画課—東島悟▷総務課—西利治・栗原恭子▷財政課—鳥羽力夫・山崎秀明▷税務課—前田茂寿・山田秀夫・内山文枝・岸川正樹・前田浩・仲尾正樹・鶴田健太郎・松尾光子・川原清春・山口正信・山平邦博・条島正美・▷市民課—江口秋義・川浪晴男・角靖二・吉住正博・立石友俊・竜由紀子▷保健衛生課—城武・柴原信喜・農林水産課兼土地改良課—原利男▷農林水産課—大屋修▷土地改良課—吉田秀雄・前田君人・力武岩夫▷商工観光課—吉富忠士・井之一行▷建設課—前田勇一・佐々木弘志・藤巻金重・西田亀次・古河幸雄▷都市開発課—山下昭二・副島秀雄▷労働課—坂本徳助・光田充明・野村文彦▷水道課—前山達夫・森田ミツエ・石井勝幸・力武一己▷黒川出張所—松浦和恵▷波多津出張所—山崎文明▷大川出張所—高添尚志▷山代出張所—宮地歌代▷福祉事務所—松永宇作・栗原幸雄・立川清・副島信男・高木基任・高峰敬治・久保洋子▷家庭児童相談室—山口由紀子▷市民病院—中尾京子▷会計課—多久島レイ子・田中直紀▷市民会館—岡部初代▷総務課付・伊万里・北松地域広域市町村圏組合派遣—古瀬義孝・永田昇▷議会議務局—山口高雄▷監査委員会事務局—松尾昌代▷教育委員会総務課—深江ツヤ▷東山代公民館—福田満男▷大川公民館—原康仁▷伊万里公民館—伊東孝信

【新規採用】 市民課—池田豊司・池田常雄▷建設課—馬場繁▷農林水産課兼土地改良課—福野和之▷土地改良課—原和敏▷税務課—片岡弘道・山口茂子▷南波多保育園—久保田はる子

迷惑なゴミの自家処理

立花町一主婦

近年、商品の過剰包装による紙くずなどというに及ばず、ビニール・プラスチック・発ぼうスチロール製品など、各家庭から出るゴミの量はまさに「はん濫」にひとしい。

このゴミ処理問題は、当然全国的な社会問題にまで発展し、その防止対策として、遅ればせにも過大包装追放運動やふろしき運動が行なわれていきます。

伊万里市では、これまで旧態度依然としたかき出し式のゴミ処理を改め、ゴミ袋を採用していただいた。

そのおかげで、ゴミが出しやすくなったばかりか町がすっきりきれいになった。しかし、ゴミ袋も枚数が重なるとかかなりの負担になる。そのためかどうか知らないが、まだゴミを自家処理している家庭がある。



広い安全な所や、付近に迷惑をかける所での処理ならそのことをうんぬんする必要はありません。しかし住家の建てこんだところでも、毎日のようにたき火をされたのでは、付近の住民は耐えられるものではないことを知って欲しいものです。

それでも、紙くずだけならともかく、悪臭と刺激と黒煙を発生するビニール・プラスチックや発ぼうスチロール製品など目やのどを痛めます。

工場等の公害問題が社会問題として、大きくとりざたされている今日ですが足もとにもその公害で毎日悩まされていることを、市当局も十分知っていたらどうもに、こうした人たちに厳重指導と対策を講じてもらいたいものです。

また、現にゴミを自家処理しているご家庭は、他人

に迷惑をかけていることを十分反省していただくとともに、安全な焼却炉を備えていただくなど、善処方を強く望むものです。

また、公害を生み出すプラスチックや発ぼうスチロールなどは必ず市指定のゴミ袋を利用してほしいものです。

山小屋15棟が完成

6年ぶり、大川内山キャンプ場再開

大川内山キャンプ場が完成し、7月20日、竹内市長や梅崎市議会議長橋口・田代両県議・夏秋商工会議所会頭・キャンプ村長になる福岡良一さんなど関係者約30人が出席してキャンプ場開きをしました。

大川内山キャンプ場は、昭和26年

大川内村営として開設され、県内はもとより長崎や福岡県などから多くの若者たちが訪れ、キャンプを楽しんでいました。しかし、昭和42年の大水害によって、当時20棟あった山小屋など施設のほとんどが流されてしまい、6年ぶりに再開したものです。



▷再開したキャンプ場◁

昨年12月10日、自然休養林の指定を受け、地元の協力を得て、総工費340万円（半額県費補助）で、施設の整備にとりかかり完成しました。

キャンプ施設は、鉄骨造り山小屋テントブレース（10人収容）15棟が建設され、水害をまぬがれた山小屋（4人収容）3棟・売店・便所・休憩所があり、河鹿の鳴く谷川沿いでキャンプを楽しむことができます。また、貸し毛布やランプ・炊事道具も用意してあります。

大川内山バス停留所から歩いて約10分、キャンプ場の真下に自家用車で来るかたのために、約20台の車を駐車できる駐車場もあります。

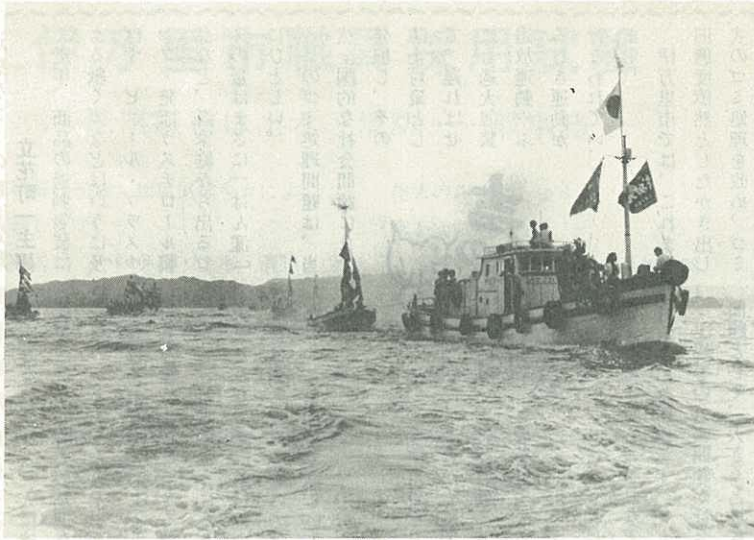
市は、キャンプ場の経営を地元

委託していますが、すでに、8月10日まで、有田や武雄、佐賀などから団体の申し込みが殺到しています。

再開にあたって竹内市長は、「立派なキャンプ場が6年ぶりに完成したことは、地元の皆さんの熱意によるものです。自然休養林の指定を受けたのと、大川内山窯元があるのでますます発展すると思う。多くの人に利用していただくために、こんごうソーマン流しなどのようなアイデアをとり入れ、地元の熱意にこたえたい。」とあいさつしました。

市は、休憩所や便所など、これから施設を充実していくことにしています。

毎月第1日曜日は
「家庭の日」です
親と子の心を結ぶ夏やすみ



延々1.5キロにも達した壮観な伊万里湾・波多津両漁協船団50隻による海上パレード



第2回 港まつり



会場をわかしたチビッコのピンポンパン体操風景



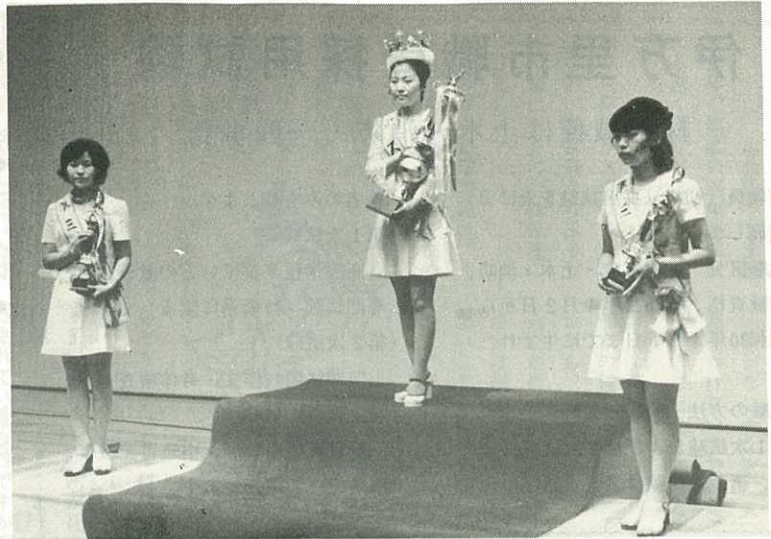
みごとな踊りを披露する松本千代作氏

恒例行事になった「第2回港まつり」は、ことしも7月23日には、市民会館大ホールで、記念式典をはじめ、

23日には、市民会館大ホールで、記念式典をはじめ、松美枝さん（23歳・市社会福祉協議会勤務）準ミス港には、松美枝さん（20歳・伊万里商工会議所勤務）が晴れの栄冠をまた引き続いて米軍佐世保基地鼓笛隊・陸上自衛隊久留米駐屯隊・小中学生水泳大会・市民ボウリング大会など、盛りだくさんな行事が予定されています。しかし、児童たちがたのしみにしていた唐津海上保嬰堂の行事も、今年も予定されています。児童たちをがっかりさせました。



体育センターでは剣道大会も開かれた



晴れの栄冠に輝いた左から準ミス港松尾聖子さん（20歳）ミス港野中道子さん（23歳）準ミス港松尾登美枝さん（20歳）

からく 7月22日~23日

7月22日午後6時から行なわれた伊万里湾・波多津両漁協には伊万里川畔で恒例の花火大会が開かれました。ミス港」の発表会と表彰が行なわれ、ミス港に野中道子尾聖子さん（20歳・佐賀銀行伊万里支店勤務）と松尾登を獲得しました。

米音楽演奏会や職域対抗のど自慢大会・市民芸能大沢山の記念行事でにぎわいました。部巡視船の観閲式と体験航海は、台風接近のため中止に



米軍さんの演奏会 オー・ワンダフル



のど自慢大会で扇子片手に熱演する商店街チーム



伊小プールではチビッコ水泳大会

伊万里市職員採用試験

採用職種は土木・消防・一般事務

市職員（初級）採用試験を次により実施します。

▷試験区分 一般事務・土木・消防

▷受験資格 昭和22年4月2日から昭和30年4月1日までに生まれた者

▷試験の方法・内容

第1次試験および第2次試験に分け、第2次試験は第1次試験の合

格者のみ実施します。

〈第1次試験〉

高等学校卒業ていどの教養試験

専門試験（技術系に限る）

〈第2次試験〉

口頭試問・作文・身体検査

〈身上調査〉

受験資格の有無、申込書記載事項について調査します。

▷試験の日時・場所

●第1次試験 10月15日午前9時

試験場は、受け付け締切日後、受験票で通知します。

●第2次試験 11月中旬の予定、日時・場所は第1次試験合格者に通知します。

▷合格者発表

●第1次試験合格者 10月下旬合格者に通知するほか、市役所前の掲示板に掲示します。

▷最終合格者発表 12月下旬の予定

▷採用 採用候補者名簿に登載し欠員補充など必要が生じたとき採用

した事件であったためもあって、決め手となる目撃者を発見することができず結局、AさんとBさんの双方を不起訴処分（裁判所に処罰を求めない処分）にしました。

ところで、一瞬の事故で夫を失ったCさんの奥さんは、加害者がだれであるかはっきりすれば、遺児となった子どもの養育など、ごんごの生活の問題もあり加害者に損害の賠償を求めようと考えていたので、この不起訴処分を知ってしまったく途方にくれてしまいました。思い悩んだ末、奥さんは、このことを新聞に投書しました。

II 検察審査会、乗り出すII

この投書は、奥さんの住んでいるところにある検察審査会の注目をひき、事件は職権で審査されることになりました。

「検察審査会」とは、検察官のした不起訴処分の当否を判断するところです。犯罪が行なわれた場合、犯

不起訴処分にしようというようなことが絶対になんといえませんが、そこで検察官の不起訴処分が正しく行なわれているかどうかを審査するため、検察審査会という機関が設けられているのです。

このように、重要な使命をになっている検察審査会には、衆議院議員の選挙権を有する者の中から、くじで選ばれた十一人の検察審査員によって構成されています。つまり、健全な常識を備えた一般の市民が、検察審査会制度の主人公であり国民のだれでも常に検察審査員に選ばれる可能性があるわけです（ただし、裁判官・検察官・弁護士など法律の専門家は審査員になることができません）

実際に、この制度の発足以来、二十余年にわたって会社員や家庭の主婦、商店主、工員など、それこそ種々さまざまな職業のかたがたが検察審査員に選ばれ活躍してきました。

検察審査会の審査活動は

捜査した警察官が作成した図面をもとに事故現場の交差点を調べましたが、証拠となるような資料も得られなかったため、この交差点から五十メートルほど離れたバスの停留所で解散することにしました。

ところが、停留所で時刻表を見ていたタクシー運転手をしている検察審査員が偶然にも事故の起きたところこの場所を通過するバスがあることを発見したので、検察審査会は、さっそくこのバスの営業所に対し事故を目撃した運転手がいるかどうか問い合わせたところ、それから二日後、検察審査会事務局に、当時のバス運転手と名乗るDさんから「事故を目撃していた必要ならその時の模様を話してもよい」との電話がありました。このことを事務局から連絡を受けた検察審査会長は、さっそく会議を開いて、Dさんの証言を聞き手はずを整えました。

会議でのDさんの証言は次のようなものでした。

会では、この事件はAさんの不注意による疑いが濃いの結論に達し、検察庁に對し、Aさんについて再度調べ直すよう求めることにし、「不起訴不当」の議決をして捜査のやり直しを命じたのです。

なくなったCさんの奥さんや子どもの将来にも、ひとすじの光明が見えてきたようです。 検察審査会は、本年五月十五日、本上に復帰した沖縄県を含め、現在、全国の地方裁判所や、おもな地方裁判所支部のあるところ二百七か所に置かれて、その事務局は裁判所の建物の中にあります。

事件を審査してもらうのに特別の費用はいりません皆さんのまわりに、もし検察審査会の制度をご存じなく、しかも検察官の不起訴処分に納得できないという人がありましたら、検察審査会にご相談ください。

唐津検察審査会事務局 唐津市大名小路一の

一（裁判所構内）

消費者通信

食中毒にご用心

食中毒の多い時期です。包装食品でも安心はできません。製造年月日だけでも確かめて買う、かしい消費者になりましょう。



毎週月曜日は消費生活苦情相談日です。気軽にご利用ください。
◎市役所市民生活室内
県消費生活苦情相談員 立石幸子
(電話) 代表2111 直通3937

します。ただし、名簿に登録されても必ず全員が採用されるとは限りません。

▷給与 3万2,100円、このほか給与条例に基づく扶養・住居・通勤期末勤勉など手当を支給します
なお、昇給は通常年1回です。

▷申込先・申込手続

所定の申込書に必要事項を記入し4月以降に撮影した上半身脱帽の写真を添付のうえ、市役所総務課職員係へお申し込みください。

▷申込書の請求

市役所総務課職員係に請求してく

ださい。郵便で請求するときは20円切手をはった返信用封筒を同封してください。

▷受付期間

昭和47年8月21日から9月14日まで、月曜から金曜までは午前8時30分から午後5時まで、土曜は午後0時30分まで受け付けます。郵送の場合は、9月14日の消印のあるものまで受け付けます。

詳しいことは市役所総務課職員係(伊万里市大坪町甲2869・電話 代表2111番・内線6・4番)へお問い合わせください。

活躍する 検察審査会

Ⅱ 交通事故発生

加害者は不起訴Ⅱ

ある日、十字路交差点でAさんの運転する大型トラックが、左方道路から交差点に進入してきたBさんの運転する乗用車と出会いがしらに衝突し、そのショックでBさんの車の助手席に同乗していたCさんは路上にほうり出され、その際頭を強く打つたため間もなく死亡するという事故が発生しました。

この事故について、AさんとBさんはそれぞれ警察と検察庁で取調べを受けましたが、お互いに、対面する信号機の信号は青色であり、青信号に従って進行したと主張して譲りません。検察官もいろいろな角度から慎重に調べを進めましたが、たまたま早期に発生

人に刑罰を科するのは裁判所の役目ですが、裁判所が審理を始めるには、まず検察官が犯人を起訴して裁判を求めることが必要です。

ところが、事件を起訴するかどうかの判断はすべて検察官にまかされていて起訴しても有罪にするだけの証拠がないと考えた場合や証拠は十分そろっていてもいろいろな情状から、あえて犯人を処罰する必要がないと考えた場合には、検察官は、犯人を起訴しないこと(不起訴処分)ができることになっています。

Ⅱ 目撃者現われるⅡ

さて、投書をきっかけにこの事件を取り上げた検察審査会は、不起訴事件の記録を調べたり、AさんやBさん、その他の人を証人として呼んだりして調べましたが、Aさんには、過去にスピード違反の前科があることと、Bさんの性格や平素の運転ぶりが慎重であるといった点のことしかわからず、結局、事故現場の交差点を实地に見ることにしました。

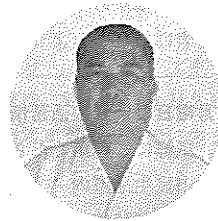
Ⅱ 不起訴処分は不当

捜査はやり直しへⅡ
以上の証言から検察審査

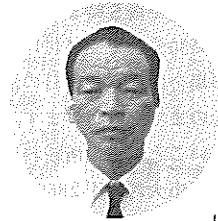
(1) Aさん運転のトラックの後に続いて進行していたが、交差点の手前約百五十メートルくらいの地点から交差点の左側に乗用車が停車しているのを見た。
(2) 停留所に近づいたので減速しようとした際、前方の信号が黄信号に変わったのを見た。
(3) 徐行開始までは制限速度いっぱいの時速五十キロで進行していたが、トラックから遅れがちであった。
(4) 停留所には乗客降はいなかったため、徐行の状態で行っていたところ、突然大きな音がしてトラックと乗用車が衝突し、乗用車の助手席から人がころがり落ちるのを見た。
(5) 目の前で起きた事故でびっくりしたが、定期バスのことでもあり、また、死亡事故になるとは思わず信号が青に変わるのをまっただ通り過ぎてしまった。

会長に中島虎作氏

新しい農業委員決まる



▽中島虎作
会長△



▽中島恒雄
副会長△

新しい農業委員が決まりました。選挙による委員20人と、農協・農業共済組合が推薦した委員4人・学識経験者として議会が推せんした委員5人のあわせて29人です。

なお、選挙による委員は、4選挙区とも立候補者が定数どおりであったため無投票当選しました。

また、7月21日に初の委員会を開き会長に中島虎作氏、副会長に中島恒雄氏、県農業会議員には中島会長がそれぞれ選ばれました。

(選挙による委員)

◎東部選挙区

- 梅崎駒一 (60歳) 大川町
- 松本義雄 (50歳) *
- 井手岩蔵 (63歳) 南波多町
- 松本俊一 (54歳) *
- 大野幸四郎 (66歳) 松浦町

塩の効用

- 瀬戸物・象牙・金物のよごれは塩または酢をませたものでみがき、熱湯で洗うとよくとれる。
- 流し台の臭みは、塩で洗って熱湯を注ぐか、石灰で洗うと消える。
- 戸・障子や木製の道具の手あかなどのよごれは、布か綿に塩水をつけてふくときれいになる。
- フライパンの底に塩をひとつまみ入れて使うとこげつかない。

小林七雄 (59歳) 松浦町

◎中部選挙区

- 副島新蔵 (55歳) 大川内町
- 力武寅次 (52歳) 大坪町
- 力武 祝 (50歳) 脇田町
- 犬塚寛市 (45歳) 瀬戸町
- 山田義雄 (60歳) 二里町
- 福田幸助 (55歳) *

農業経営委議者に大臣賞

対象は55歳以上の農業経営者

年をとっている農業経営者が、その経営をゆずったときは、農林大臣が表彰することになりました。

これは「老令農業経営主経営移譲促進事業」に基づいて行なうもので農業経営の近代化を図り、しかも農業経営主の老令化を防ぐために国が実施しているものです。

農家には、昭和45年に「農業者年金制度」が発足しました。しかしこの制度の発足当初は、55歳以上の農業経営主は、加入の対象にならなかったばかりか、離農給付金も第三者に経営をゆずったときに限って支給されるなど、あまり恩恵をうけることができなくなっています

そこで、すでに老令に達した農業経営主が、後継者などに経営をゆずったときは、その老令経営主が長年わたって国民の食糧、その他農産

◎北部選挙区

- 松浦茂人 (63歳) 黒川町
- 岩野重男 (57歳) *
- 古賀徳助 (64歳) 波多津町
- 田中静男 (45歳) *

◎西部選挙区

- 中島虎作 (61歳) 東山代町
- 川原猶祝 (51歳) *
- 山浦静馬 (54歳) 山代町
- 永尾三代司 (54歳) *

- 〈1号委員〉 農業団体推せん
- 前田政雄 (67歳) 大川内町
- 樋口熊次 (62歳) 松浦町
- 宮本岩見 (59歳) 大川町
- 前田徳治 (55歳) 南波多町

- 〈2号委員〉 議会推せん学識経験者
- 瀬戸貞治 (64歳) 黒川町
- 岩永康徳 (69歳) 南波多町
- 中島恒雄 (45歳) 瀬戸町
- 副島 勉 (45歳) 東山代町
- 吉原羊一郎 (41歳) 大坪町

物の供給に寄与してきたご苦労に報いるため農林大臣が褒賞することになったものです。

農林大臣から褒賞を受けることのできる老令農業経営主は次のとおりです。

▷耕作面積が、50アール以上で、年間の学働時間が700時間以上の者
▷大正5年1月1日以前に生まれた者(昭和46年1月1日現在で満55歳以上の者)

▷引き続き20年以上農業経営にたずさわり、農業に従事している者。
▷満65歳に達する日まえに、経営をゆずることのできる者。

なお、この事業は、昭和47年度から10年間実施されます。

詳しいことは市農業委員会(電話代表2111番・内線23番)にお問い合わせください。

読んでいるのは60%

「こどものページ」アンケート結果

小学校児童を対象に実施した「こどものページ」に対するアンケートの結果がまとまりました。

このアンケートは、ことしの5月下旬、市内小学校の4年生から6年生までの児童約3,000人の中から学校ごとに学年を指定して、約3分の1に当たる995人を対象に行ないました。このうち845人から回答があり84.9%の回答率でした。

・「こどものページ」は、子ども時代から市民意識を深める目的で、昨年4月から、毎月発行している広報いまりの一頁をさいて掲載しています。今回の調査は、発行後1年を経過したため、子どもの反応を知るためにこどものページの読まれかたや学習などに対する効果・理解のていどなど4つの項目について行ないました。結果は、回答者の60%ていどが毎月ないし、ときどき読むと答えまだ十分浸透しているとはいえません。

広報がおとな向けのものであるため、子どもの手まで届かないケースが多いことも一因のようです。

◎こどものページの読まれかた

回答した845人のうち「毎月読んでいる」と答えたのは82人(9.7%)「ときどき読む」432人(51.1%)「読んだことがない」と回答したのが331人(39.2%)でした。つまり60.8%に当たる541人はこれまで読んだ経験があり、39.2%は全く読んでいません。

◎学習に対する効果

「こどものページ」が、はたして自身の学習にどれほど役立っているか、読んだ経験のある541人について調査しました。結果は「たいへん勉強になる」と答えたのが49%の

253人「あまりためにならない」と回答したのが79人(15.4%)「ぜんぜんためにならない」45人(8.9%)「わからない」と答えたまよい型が132人(25.6%)でした。

なかでも、5年生は、約20%に当たる38人が「ぜんぜんためにならない」と回答しています。これは4年生や6年生に比べるとはるかに高い比率です。しかし、はっきりした理由はわかりません。

読んでいない114人についてもその理由を調査しました。結果は「興味がない」ものが全体の約43%と高い比率を占め、「読むひまがない」ものが12.9%でした。

興味がない者はやむを得ないとしても、小学生で暇がないというのはうなずけません。その理由をはっきりさせなかったのが反省させられました。

更に「広報いまり」がくばってこ

ないという回答が意外に多く7.3%を占めました。また「こどものページ」を知らなかった者、親が広報を見せてくれないと答えた者、アンケートではじめて知ったと回答した者があわせて26.7%もありました。

広報いまりが配られていないと答えた24人については、事実とすれば問題です。しかし、毎年実施している「広報アンケート」の結果からみて広報が配布されていないとは判断できませんので、おそらく親の手元にとどまっているとしか理解できません。ご父兄の協力をお願いしなければならないようです。

◎文章の理解ていど

文章の理解度については「わかりやすい」と答えたのが74.7%と高い比率でした。「わかりにくい」のは18.4%です。担当者としていちばん心配していた低学年層も、高学年とほぼ同率に理解されているようです。

なお、意見のうちで最も希望が多かったのは、まんが、詩、学校のできごとなどです。一頁という限られた紙面ですが子どもたちに愛読される紙面づくりに努めなければと反省しています。

—「ガン」に気をつけよう—

今日「ガン」ほど一般におそれられている病気はありません。

わが国のガンによる死亡は、死因的にみると脳卒中について2番目ですが、35歳から55歳までの、最も働き盛りの年齢層では第1位を占め4人に1人はガンで死亡しています。

昭和45年の本県のガンによる死亡率は、人口10万人に対して150人で全国第4位というかんばしくない成績です。

わが国では、男女とも胃ガンが最も多く、約半数を占め、次いで男は肝臓ガン・女は子宮ガンとなっています。しかし、ガンの原因はまだ明らかになっていないため、根本的な

予防法は確立されていません。でも医学の進歩によって、早く発見して治療すればほとんどなおるようになり、このおそるべきガンも、もはや不治の病ではなくなってきました。

県は、ガンの大半を占める胃ガンと子宮ガンの早期発見と治療を促進するため県内に検診車を巡回しています。40歳のいわゆるガン年齢になったら定期的に健康診断をうけましょう。日ごろ牛乳や乳製品を多く摂取している人は胃ガンにかかりにくいというデータもあります。塩分や刺激物は少なめに、バランスのとれた栄養をとるなど予防に心がけましょう。

老令障害者に福祉年金

対象は65歳以上の2級障害ていど

国民年金の老令福祉年金は、満70歳になったときから支給していますが、昨年11月から病気やけがで日常生活に不自由をされているお年寄りにかぎり65歳から支給されることになっています。

これまでも身体に障害のある人は、障害福祉年金が支給されていましたが、これらの人は、他人の助けを借りなければ日常生活ができないような重い障害者（1級障害者）に限られていました。しかし、他人の

助けを必要としないまでも、国民年金法に定める2級ていどの障害状態にある年寄りは、一般のお年寄りには比べ、日ごろの生活になにかと不自由をされていることから一般のお年寄りより早く年金を支給することにしたものです。

2級ていどの障害者とは、▷手や足の片方を切断したもの。▷両眼の視力が0.08ていどのもの。▷耳もとで大声で話しても聞きとれないもの、そのほか心身の各部例えば心臓

や呼吸器または精神などに障害があり、日常生活に著しく制限を受け自分の動ける範囲が家の中に限れる場合などをいいます。

したがって、このような障害の状態にある人は、65歳（すでに65歳をこえ70歳未満）になられたら老令福祉年金を受けられることもありますので、市役所市民課国保年金係へ相談のうえ、請求の手続きをください。

—おわび—

「広域圏のまちを訪ねて」は、紙面のつごうで休載させていただきました。なお、次号掲載予定の西有田町でこのシリーズは終わります。

おかあさん、ぼくは

もう「どもり」じゃないよ

これは、1週間に一度「ことばの教室」に通うようになってから4か月目のA君（小2）の喜びのことばです。A君は、4月の初め、おかあさんにつれられて「ことばの教室」に相談に来ました。その時は「ボロボクは……」などと盛んにどもって話していたのです。この子は、学校ではどもりを気にして発表しなくなり、勉強も遅れがちでした。そのA君がまたよく発表するようになり大変明るい子になりました。先生もおかあさんも、本人も大喜びです。

市は、このように話しことばの不自由な子ども（言語障害児）を救うために、大坪小学校に「ことばの教室」を開設しました。もちろん、伊万里市でははじめてで、市内全域の児童・生徒・幼児が相談や治療・指導を受けることができます。

話しことばが不自由で困っている子どもはどもりだけではありません▷さかなをチャカナ・おかあさんをオタータンといったりする発音のおかしい子ども。

▷ことば数が少なく、おけている子ども。

▷唇や口の中がわれているためにことばが正しく発音できない子ども

▷耳のきこえが悪い子ども。

▷声がききづらい子ども。

▷家ではしゃべっても、学校では一言もしゃべらない子ども。

▷脳性マヒのため、なめらかに発音できない子ども。

など、いろいろなことばの問題をもつ子どもがいます。

ことばの問題は、単に会話の不自由さだけにとどまらず、勉強が遅れたり、ひっこみ思案になったり、性格がゆがんだり、といったいろいろな問題をひきおこしがちです。ですから、その障害を早く取り除いてやらなければなりません。

ところが、ことばがおかしいと気づいたおかあさんは、すぐ「もう一度いってごらん」とか「オタータンじゃない、おかあさんでしょ」などと厳しく注意を与えてしまいます。実は、これがことばの病気をなおひ

どくする原因なのです。注意は指導ではないのです。正しく言えるような方法を考えてやるのがたいせつです。

「ことばの教室」では、防音装置のある、静かな部屋で、楽器や玩具訓練器を使って、楽しみながらことばの勉強ができるようにくふうされています。指導には、ことば専門の先生が当たり、医学や心理学・特殊教育関係者など、多くの専門家の協力で、いちばん適切な方法で指導します。

またことばの教室は、一般の特殊学級とちがって、通級性ですから自分の学校で勉強しながら、1週間に1～2回通ってことばの勉強をするしくみになっています。

もし、子どものことばの問題で悩んでいるおかあさんがあったら、気軽に相談してください。連絡をうけたときは、お返し相談の日時をお知らせします。

●市教育委員会 電話5660番

●大坪小学校「ことばの教室」

電話6148番

大坪小学校「ことばの教室」

担任 井手孝通

こどものページ

1年6か月の突貫工事

始まった七ッ島工業団地づくり

七ッ島と黒川町の海岸いったいにかけて、大がかりな埋め立て工事が始まりました。

この工事は、大阪の名村造船所がここに新しい造船所を建設することになっているため、佐賀県が新しく計画した「七ッ島工業団地」の建設工事です。

埋め立ててつくる工業団地の広さわ148万2,300平方メートルといわれています。埋め立てる区域は、図表のように、黒川町の金剛島（黒川ボートセンターのあったところ）ふきんから、伊万里湾に浮かぶ七ッ島までの海面で、七ッ島や金剛島などを切りくずして埋め立てます。

埋め立てが終わったら、このうちの34万7,500平方メートルを名村造船所の用地に、残りの土地は、造船所に関係のある工場や道路の用地などにする予定です。

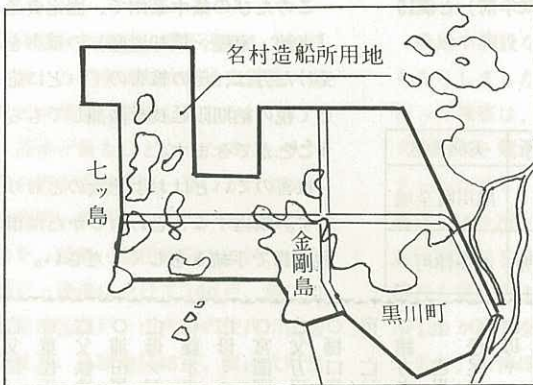
工事はすでに6月から始まっていて、昭和49年の3月ごろには完成することになっています。

しかし、この広い工業団地をつくるためには、およそ60億円というばく大なお金がいります。

佐賀県が、わざわざたくさんのお金を使って、工業団地をつくることにしたのは、名村造船所をはじめほかの会社が、せつかく伊万里に新しい工場を建てようと思っても、思うように土地が買えなかったり、たとえ土地が買えたとしても、工場があっち、こっちにあっては不便です。

佐賀県は、こういう問題をできるだけ少なくして、会社が思うように

工場を建てられるように、節もって用地をつくっておいて、それぞれの会社にゆずってやることにしているのです。



▷七ッ島工業団地の埋め立て計画図◁

この団地に、新工場を建設することになっている名村造船所は、昭和49年1月には7万トン級の第1船の建造（つくること）にかかることにしています。そのため、ことし10月ごろから工場の建設にとりかかることにしています。

ですから、埋め立て工事も、この計画にしたがって、造船所の用地からさきに工事をすることにしていま

す。しかし、第1船の建造がはじまるまでは、あと1年6か月ていどしかありません。この短い期間に埋め立て工事を終わるには、ふつうの機械を使ってはとてま間に合いません。したがって、日本でもあまり使われていないというとてもすぐれた、大きなブルドーザやダンプトラックなど、能率のあがる機械を使うことになっています。

例えば、ブルドーザが30トン級6台、42トン級2台、土をすくい取るホイルローダーという機械は30トン級から55トン級のもの7台、ダンプ

トラックは11トン車から35トン車まであわせて29台などとなっています。このほかにも大きな機械がたくさん使われることでしょう。

また、この工事には、1日1,500人ぐらいの人が現場で働くことになるだろうといわれ

ています。

これから、工事が終わる昭和49年の春ごろまでは、大きなブルドーザやダンプトラックが、さかんにゆきかい、岩や石をくだくためにたくさんハッパも使われます。

そのため、工事区域の全体が立ち入り禁止になっています。

むだんではいりこんだりしないようにしましょう。



花火あそびは 親といっしょに